

令和2年度事業実績書

団体名	嘉川自治連合会
-----	---------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

嘉川の魅力を活かした元気で楽しく住みたいまちづくり

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域みんなで子育てができるよう、子育て支援団体の活動を支援します。		
	事業名	すこやか子ども未来	決算額	222,500円
②	視点	地域防災力の充実・強化と防災意識の高揚を図り、みんなが安心して暮らせる地域を造ります。		
	事業名	みんなで安心防災	決算額	1,109,831円
③	視点	住民が楽しく交流できるふれあいイベントで地域の活性化を図ります。		
	事業名	ふれあい交流	決算額	115,637円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①今年も改めて子育て支援組織「みらい」、嘉川子ども館「しゅっぱぽ」の活動を継続することの大切さを確認することができました。また、ふるさと学習では学校や家庭ではできないことを体験することができました。参加者が多数あり、学びたい・教わりたいという意欲があることに気づかされ、今後も学習内容を更に充実させて、多くの子どもたちが参加できるように企画していきたい。	◎
②今年度、自主防災本部を立上げ、自主防災組織設置(地域自主防災組織)を市へ提出し、6月に認定されました。自主防災調整会議等行い、防災への取組み体制、防災資機材等の整備を行いました。また、小中学生を対象とした防災学習を開催し、避難の重要性や自分の命は自分で守ることの大切さを意識づけができ、小中学生の防災への関心の高まりが伺えました。	◎
③毎年秋の恒例行事だった各イベントがコロナ禍により中止としたが、コロナ禍でも実施できる代替イベントを工夫して企画したことで、大変、好評で参加者にも喜ばれた結果となり代替行事としては単年度としての予定であったが、好評だったため来年度以降も実施するかどうか検討をするしていきたい。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

今年度、自主防災本部が設置に伴い今後の地域防災力の充実・強化が期待されます。また、小中学生の防災学習を実施し子どもたちに防災意識の向上に寄与できたと考えています。ふるさと学習では多数の参加があり、今後も継続して行っていきたいと思います。他に、今年も改めて子育て支援組織「しゅっぱぽ」の活動を継続することの大切さを確認することができました。コロナ禍でイベントが中止する中、コロナ禍でも実施できる代替イベント工夫して企画したことで、嘉川地域の魅力を地域へ発信するできました。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	4,749,081円	事務局
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数)	事務局長1人、事務局員2人
	(運営費の主な内容)	事務局人件費、事務費
	(成果・評価)	年間を通じて滞りなく事務局運営を行いました。
	(今後に向けて)	スムーズに事務局運営を行うため体制を強化していきます。

(2) 地域振興

事業名	ふれあい交流	まちづくり部会
事業費	115,637円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 ふれあい交流イベント(コスモスウォーク、三世代交流ウォーク) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベントは中止しました。なお、イベントの代替行事を開催しました。代替行事:嘉川のいい秋みつけちやろ写真コンテスト、謎解きアドベンチャー2020inかがわ</p> <p>(1) 嘉川のいい秋みつけちやろ写真コンテスト! 募集期間:10月～11月、結果発表:12月中旬、応募者:10人</p> <p>(2) 謎解きアドベンチャー2020inかがわ 実施期間:11月～12月、報告日:12月6日(日)、報告者:93人</p> <p>2 祭り・イベントで子どもみこし 子どもたちが生き生きと活躍できる場として地域行事にみこしを担いで各イベントに参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各イベントが中止となりました。(各イベント:体育祭、嘉川八幡宮秋季大祭、文化祭(縮小開催)) 代替事業として、過去の各イベントに参加した子どもみこしのアルバムを作成しました。また、センター内にみこしを展示をして、子どもみこしを失念させないように取り組みました。展示期間:8月</p> <p>3 地域・歴史文化のふるさと探訪 「ふるさと嘉川の遺跡・史跡」を利用した「ふるさと探訪ウォーク」を元氣会が実施されました。 実施日:4月7日(火)、10月7日(金)、2月26日(金)は荒天のため中止。参加者:71人</p> <p>4 みんなであいさつ、つながる地域 「川西地区あいさつ・こだまプロジェクト」や地域内団体と連携して活動の推進に取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、川西中学校でのあいさつ運動立哨活動は中止となりました。また、のぼり旗に代わる啓発用品についても未購入となりました。</p> <p>(成果、評価) 毎年秋の恒例行事だった各イベントがコロナ禍により中止としたが、コロナ禍でも実施できる代替行事を工夫して企画したことで、大変、好評で参加者にも喜ばれた結果となり代替行事としては単年度としての予定であったが、好評だったため来年度以降も実施するかどうか検討をする予定です。 また、実施されたイベントについてはコロナ対策を十分に取り入れながらの実施し、参加者も安心してイベントに参加できました。</p> <p>(今後に向けて) 地域住民が楽しく交流できるふれあいイベントを実施し、地域の活性化を図っていきたい。 また、イベント内容についても十分に検討をしていきたい。</p>	

事業名	嘉川の情報発信	まちづくり部会 広報委員会
事業費	794,200円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 地域情報をみんなで共有する広報誌の発行 地域の知ってほしいことを掲載し、9月と3月に広報誌を発行しました。 広報委員会:4月～8月編集会議(9月発行)、12月～3月編集会議(3月発行) 発行部数:9月 2,700部 3月 2,700部 全戸配布</p> <p>2 暮らしに役立つホームページ みんなが知りたい情報をタイムリーに提供しすることができました。また、内容を充実しました。 ホームページ記事:毎月1回更新、速報情報は随時更新</p> <p>3 住みたい嘉川の魅力を地域外へ発信 今年度より、第3期地域づくり計画の初年度のため、5ヵ年計画のチラシを作成し、地域内外へ発信をしました。チラシ作成部数:5,000枚</p> <p>(成果、評価) 嘉川自治連合会の活動状況など地域住民に知らせることで、嘉川の魅力や課題を共通理解し、これからの嘉川について考えるきっかけづくりとなりました。また、地域内団体の活動状況などを紹介し、活動内容の理解を深めることができました。</p> <p>(今後に向けて) 地域の様々な行事や活動を効果的に発信し、嘉川の魅力や情報を掲載し、住みたいね。嘉川を牽引していきたい。</p>	

(3) 地域福祉

事業名	すこやか子ども未来	ひとづくり部会
事業費	222,500円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 嘉川子ども館の子育て活動 子育て支援組織「みらい」の運営の支援をしました。また、嘉川子ども館「しゅっぱぽぽ」に絵本や遊具を購入しました。 「しゅっぱぽぽ」開館日:毎週火・水・金 第3土曜日、行事 7、12、2、3月 利用者:5,000人(延べ)</p> <p>2 いのちの学習「川西ちびっ子大集合」 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は活動中止。(パンフレットの製作はなし)</p> <p>3 放課後児童クラブの活動 放課後児童クラブ(2施設)の行事や活動を支援しました。 時期:通年(夏休み・春休み・冬休み含む)、おおぞら学級・仲良し学級:児童65人</p> <p>4 児童生徒の見守り活動 登下校時の児童や生徒の見守り活動を実施しました。また、見守り隊用のベストを購入しました。 時期:通年(登下校時)、見守り隊(地区):100人、見守り用ベスト:50枚</p> <p>5 小学生「ふるさと学習」、「世代間交流」 小学生「ふるさと学習」の支援をしました。「世代間交流」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 開催日(ふるさと学習):8月2日(日)、4日(火)、5日(水)、参加者:57人</p> <p>(成果、評価) 子ども館に絵本や遊具を購入して、充実した豊かな集いや遊び場となりました。また、放課後・長期休暇期間(夏休み、冬休み)の児童の行事が充実したものとなり、効果的に子育て支援組織及び放課後児童クラブの活動に効果的に支援ができました。見守り活動では、ベストを購入し、春から秋にかけて安全に見守り活動を行うことができ、見守り中では児童や生徒との繋がりができました。 小学生「ふるさと学習」では、学校や家庭ではできないことを体験することができました。参加希望が多数あり、学びたい・教わりたいという意欲があることに気づかされました。 講座内容:ミニソーラーカー、エコパック、絵手紙の製作</p> <p>(今後に向けて) 地域の独自の活動として運営をしている子育て支援組織に対して今後も支援を継続していきたい。 見守り活動を通して児童や生徒との繋がりを深めていきたい。 ふるさと学習や世代間交流の講座内容を更に充実させて、多くの子どもたちが参加できるように企画をしていきたい。</p>	

事業名	みんなで健康長寿	ひとづくり部会
事業費	120,000円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 いきいきサロンの活動 いきいきサロンの充実のため、活動をされた5地区に支援をしました。 地区:いきいきサロン・たかね、赤坂いきいきサロン、福ふくサロン、免地にこここ会 高見いきいきサロン(5地区) 参加者:80人</p> <p>2 老人クラブの活動 老人クラブの活動(スポーツの集い)をされた5地区に支援をしました。 老人クラブ:今津山会(11月20日(金))、高見長寿会(12月4日(金)) 高根福寿会(1月19日(火)) 万年青会(11月19日(木))、藤生会(4月~1月) 参加者:200人(延べ)</p> <p>3 高齢者の「交通防犯講習」 8月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>4 健康相談の実施 健康相談を実施された3地区に支援をしました。 地区:免地(6月)、福岡(2月)、高見(3月) 参加者:50人</p> <p>(成果、評価) いきいきサロンの活動を通し、地区のつながりと仲間づくりができました。また、各単位老人クラブが企画する健康と友愛活動を目的としたスポーツが促進されました。健康相談では、高齢者の方が健康管理に関心が高まりました。コロナ渦の中、適度な気分転換が必要な高齢者には必要な場づくりとなりました。</p> <p>(今後に向けて) いきいきサロンの活動を充実させるため、今後も支援をしていきたい。 老人クラブの活動を支援して、仲間づくりの場となるようにしていきたい。 健康管理の関心を高めるため、健康相談を各地区に実施してもらうように周知をしていきたい。</p>	

事業名	楽しい健康ライフ	ひとづくり部会
事業費	230,058円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 かがわ元気あっぷチャレンジ 元気あっぷチャレンジを年4回実施し、健康チェックをしながら「体力&免疫力あっぷ」に取り組みました。 開催日:8月26日(水)、10月7日(水)、11月11日(水)、2月24日(水) 参加者:117人(延べ)</p> <p>2 スポーツ活動の用品貸し出し 老人クラブや地域スポーツ行事にスポーツ用具を貸し出して各行事の支援をしました。 購入用具:ポッチャ(ニュースポーツ)ほか 時期:10月、11月、2月 参加者:70人</p> <p>3 健康づくり団体の活動 健康づくりに取り組む活動団体(3団体)へ支援をしました。 活動団体:嘉川八幡宮ラジオ体操、さらく会ラジオ体操、嘉川元気会 時期:通年 約7,000人(延べ)</p> <p>(成果、評価) 元気あっぷチャレンジの活動が定着し、参加者が増えてきました。 軽スポーツの活動でニュースポーツ用具の活用がなされ、点検と補充ができました。 健康づくり取り組む団体へ支援を行い、参加者の健康づくりの輪が広がってきました。</p> <p>(今後に向けて) 元気あっぷチャレンジを継続して、健康の増進を図る企画を考えていきたい。 スポーツ活動や日常的な健康づくりができるスポーツ用具を今後も提供できるようにしたい。 高齢者が外に出て健康的に過ごせるように今後も各団体へ支援をしていく。</p>	

事業名	がんばる人づくり	ひとづくり部会
事業費	74,628円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 がんばるボランティア活動の支援 中高生・若者ボランティアサークル“きずな”の活動充実のための支援をしました。 「みおつくしの会」の高齢者慰問・見守り活動のための手作りの製作に支援をしました。 みおつくし活動日:通年 人数:150人(延べ) 手作り品配布日:12月8日(火) きずな:活動はできなかったが、来年度の活動に向けた諸準備をおこないました。</p> <p>2 がんばる人の応援(人材バンク) 地域づくりを担う人材の発掘や後継者育成の一環として、令和3年嘉川地域在住の新成人を対象に 集合写真撮影を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期されました。</p> <p>3 がんばる組織の応援(諸団体) 自治会長の悩みを共有し、今後の自治会活動が円滑に進むように「お悩み相談会」を開催しました。 開催日:9月19日(土) 参加自治会:18自治会(20人)</p> <p>(成果、評価) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、きずなの活動ができなかったが、次年度の活動に向けた 諸会議等を重ねた結果、更に、ボランティア活動に志をもつ人たちの輪が深まりました。 また、がんばるひとづくりでは、若者たちを地域づくりを進める新たな事業を取り込むヒントが得られま した。「お悩み相談会」の開催では、各自治会の悩みごとを共有して今後の自治会活動の中で問題 を解消することに役立てることができ、効果的でした。</p> <p>(今後に向けて) 地域のために活躍するボランティア組織に対して引き続き支援をしていきます。 地域づくりを担う人材を発掘するための新たな事業に取り組み、「人材バンク」の登録についても検討 していきます。また、各自治会の悩みごとの相談会を実施し、自治連と各自治会との連帯感を深めて いきます。</p>	

(4) 安心・安全

事業名	みんなで安心防災	自主防災本部
事業費	1,109,831円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 自主防災組織の設置促進、充実強化</p> <p>(1) 自主防災本部連絡調整会議 開催日:12月5日(土) 参加者:45人 各自治会長が参加し、自主防災本部の組織体制や配備体制の説明、災害対応等の各自治会との連絡体制などの調整会議を開催しました。</p> <p>(2) 自主防災組織会議 開催日:2月11日(木・祝) 参加者:自治会21地区 37人 自主防災組織の設置促進のため、自治会の現状・問題点や新たな設置に向けた取り組みなどの防災組織会議を開催しました。検討している自治会が14地区も参加され、設置が期待されます。</p> <p>(3) 防災本部の資材等購入 9月に発生した台風10号での53名の方が交流センターへ避難され、自主防災本部として初めて避難所運営を経験し、その反省から必要物資を検討して、防災備品や収納倉庫を購入し整備しました。</p> <p>2 防災研修・訓練で地域防災力の強化 2月に予定していた各地区との共同で行う防災訓練はコロナ禍のため中止となりました。</p> <p>3 防災士・自主防災アドバイザーの養成 自主防災アドバイザー養成講座(10月開催)の募集をしたところ今回は、応募がありませんでした。</p> <p>4 小中学生を対象に「命を守る防災学習」 嘉川小学校:10月2日(金)、興進小学校:10月7日(水) 参加児童:52人(2校) 4年生を対象に自然災害の怖さをクイズ形式で考え、防災グッズの重要性を学習をしました。 川西中学校:12月14日(月) 参加生徒:122人 1、2年生を対象に避難所で役立つ廃段ボールを使用した簡易ベッド、簡易トイレ、衝立を作成する体験学習を実施しました。</p> <p>(成果、評価) コロナ禍の中で、多人数での会議や避難訓練等実施ができなかったが、台風10号の避難者受入体制、避難所運営に関する貴重な経験ができ、その反省から避難所体制の見直しや必要な防災資機材を検討し整備することができました。</p> <p>(今後に向けて) もっと大規模な避難体制に向けて、小中学校の避難運営等を検討する。避難所スタッフの確保と育成、災害ボランティアの連携と活用について検討し、運営に必要な資材を計画的に整備していきたい。また、自主防災組織を検討している自治会を支援し、組織設置を推進していく。</p>	

(5) 環境づくり

事業名	美しい環境づくり	環境づくり部会
事業費	473,790円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 まちじゅう花いっぱい活動 各地区や団体にまちじゅう花いっぱい運動の推進の働きかけを行い、夏・冬花壇用の花の苗、肥料等を配布し、各自治会や子ども会、小・中学校3校、おおぞら学級、しゅっぽぼなど育成されました。苗の配布:5月29日(金)1,540本、10月30日(金)930本 参加者:20自治会、6団体 150名</p> <p>2 本郷地区の里山づくり 禅定寺山(392, 2m)の登山コースの点検や頂上展望所の草刈りを実施しました。 本郷地区の遊休農地を活用し、景観植物(コスモス、菜の花)の植栽を行いました。また、イノシシ防護施設を整え、園地の保全を図りました。 本郷里山研究会を設置し、地域資源の持続的活用について研究を開始しました。 開催日:7月(本郷里山研究会設立)、11月(現地調査)、2月(地域資源活用の現状と問題点)</p> <p>3 みんなで清掃、美しい地域づくり 地域をあげてゴミのない美しい地域づくりのため、一斉作業日を毎年11月最終日曜日と定め、大原、岡屋インター付近、今坂駐車場の清掃を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p> <p>(1) 嘉川駅清掃活動 嘉川駅をみんなの駅と捉え、駅舎待合室の掲示板の利用を自治連合会とJRが利用協定を締結しました。また、駅舎周辺の清掃、植木の剪定、除草をしました。今後も自治連合会及び、小中学校等からのお知らせの掲示、清掃活動を実施していきます。</p> <p>(成果、評価) 地域をあげて「まちじゅう花いっぱい運動」を推進し、環境美化の一助となりました。 里山づくりでは、今年度は台風の被害もなく、景観植物(コスモス)は順調に育ったが、新型コロナウイルスの影響で活動ができませんでした。しかし、小規模のウォーキンググループや個人で散策をされていたため、里山を交流の場として活用するグループが定着されてきたように思われます。 里山の保全、利活用のあり方などについて里山研究会を設立し、今後の里山づくりが期待されます。 嘉川駅周辺の清掃活動は今後の美しい地域づくりに繋がります。駅舎掲示板の活用で地域の情報を周知することができます。</p> <p>(今後に向けて) まちじゅう花いっぱい運動に参加されていない自治会、子ども会について参加をしてもらうように、検討していきたい。また、自治会単位のみではなく、私が植えてみようと言う人(個人)も募集していきたい。登山道整備は、今後も安全な登山ができるように、登山ルートの維持管理を行いたい。 本郷地区の里山の魅力をタイムリーに発信していきたい。 また、里山づくりでは、有識者の意見や先進事例を参考にしながら、検討を進めていきたい。</p>	

事業名	優しい交通ネット	安全づくり部会
事業費	102,800円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 便利なコミュニティ交通 嘉川コミタクの経営改善に向けて、研究会の活動として運行ルートやダイヤの問題点や変更に関する ことをコミタク推進協議会との合同会議で提言を行いました。 コミタク研究会:7月8日(水)、8月28日(金)開催 合同会議:9月26日(土)、11月21日(土)開催</p> <p>2 交通弱者・高齢ドライバーの支援 未実施</p> <p>3 交通安全施設の整備 カーブミラーの設置補助を2箇所で行いました。 地区:宮の原(新設)7月設置、原条(新設)3月設置</p> <p>(成果、評価) コミタク推進協議会で、4月1日からルートの変更やダイヤの改正を実施することとなり、経営改善に結 びつけられました。カーブミラーの設置により交通安全に寄与できました。 高齢者や交通弱者に寄り添い、安全なまちづくりに貢献することができました。</p> <p>(今後に向けて) コミタクは主として江崎東4地区が通院や買物等に利用しており、他の地区にも通院や買物等で外出 困難な交通弱者がいるので、地域全体での取り組みを検討していきたい。 宅地開発等で、道路事情も変化してきており、今後も見通しが悪い箇所にはカーブミラーを設置して、 安全対策として整備に取り組んでいきたい。</p>	

事業名	公共インフラ整備	安全づくり部会 建設委員会
事業費	4,456,000円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 市道改良、河川浚渫、下水道等の要望 地元から要望を提出されている未整備の道路について、緊急性を考慮しながら、優先順位を協議し 要望を市へ提出しました。提出日:2月26日(金)</p> <p>2 法定外公共物等の整備 地元が行う日常生活道路(法定外道路)や水路(法定外水路)の補修工事等に対して、工事費を補助 しました。 時期:6月(1次募集)、9月(2次募集)募集締切後、建設委員会で要望内容を審査し、地元関係者が 工事を実施しました。審査会:7月8日(水) 道路7件、水路1件 4,456千円 原材料支給については、今回は要望はありませんでした。</p> <p>(成果、評価) 地域の要望に沿って事業実施ができて、十分な成果があったものと考えます。</p> <p>(今後に向けて) 広く地域に利用されるように広報、周知の徹底に努めます。</p>	

(6) 地域個性創出

事業名	嘉川らしいまちづくり	まちづくり部会
事業費	212,810円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 嘉川の酒「嘉穂の郷」米づくり・販売の支援 地元の酒米を生産し、地元の蔵元で醸造した地酒「嘉穂の郷」が今年度も良質な新酒にできあがりしました。なお、酒米づくりイベント(田植え、稲刈りの体験)はコロナ禍のため中止しました。「嘉穂の郷」の販売拡大のため新酒販売申込書を各自治会へ回覧し販売拡大の取り組みをしました。販売先の酒屋店に「嘉穂の郷」のぼりを設置。また、チラシを作成し地域内外へ情報を発信しました。新酒販売申込者:300人、のぼり作成:50枚、チラシの作成:2,000部</p> <p>2 嘉川をおいしく、地産料理 嘉川特産品を使用した嘉川らしい料理を創作・開発し、特産品の消費・普及を図り、また、小、中学生での料理教室、地域の行事等を利用して地域産品料理を紹介して地域の関心を高めました。 朝食づくり:12月2日(金)、参加児童:嘉川小5年生 27人 酒粕と米を使ったお菓子作り:10月4日(日)～3月31日(水)の間、参加児童:各3人ずつ 火起こし体験:2月18日(木)、参加児童:嘉川小3年生 31人</p> <p>3 嘉川を元気に、まちおこし 地域活性化を図るまちおこし事業を関係団体と連携し、まちづくり委員会へ支援しました。</p> <p>(成果、評価) 地元の酒「嘉穂の郷」の販売拡大のため、のぼりやチラシを作成し販売の拡大に取り組み、PRができました。また、小、中学生の料理教室は定例行事として定着してきました。 特産品開発(酒粕パウダー)の研究にも今後も期待ができます。</p> <p>(今後に向けて) 地域特産品を活用した特産品開発・普及により地域活性化を図り、魅力ある嘉川をPRしていきたい。「嘉穂の郷」の販売拡大のため、人の出入りが多くある新山口駅周辺で販売ができるよう検討を進めていきたい。</p>	

事業名	歴史文化の伝承	まちづくり部会
事業費	296,721円	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>1 地域の踊りの伝承、文化祭の総踊り 嘉川地域に伝わる「白河踊り」を保存し伝承普及するため、地域行事の体育祭、文化祭で披露する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止及び縮小開催となり、「白河踊り」、「嘉川さと音頭」を披露することができませんでした。</p> <p>2 歴史文化財の周辺整備 嘉川の文化遺跡周辺を草刈りを行い整備しました。また、老朽化している標柱を取り換えました。 実施時期:通年、標柱の取替:13本</p> <p>(成果、評価) 嘉川の遺跡・史跡周辺整備、標柱の取替を実施したため、探訪を目的としたウォーキンググループに大変喜ばれました。</p> <p>(今後に向けて) 嘉川に伝わる「白河踊り」、「嘉川ふるさと音頭」を保存し伝承普及に引き続き取り組みます。 嘉川の文化遺跡周辺の整備を今後も実施し、環境整備を図っていきたい。</p>	